

【審査項目・採点基準】

- ・ 業務の実施体制／企画提案の優位性／経費の各審査項目については5段階(5=非常に優秀／4=優秀／3=普通／2=やや不十分／1=不十分)で採点し、得点＝評点×係数として集計する。
- ・ 「女性の活躍推進」及び「環境配慮」に関する取組の審査項目については区分ごとに採点し、該当する区分の配点(審査項目ごとに最大配点の設定あり)の合計を得点として集計する。
- ・ 総計 100 点(業務の実施体制 20／企画提案の優位性 60／経費 10／「女性の活躍推進」及び「環境配慮」に関する取組 10)とし、合計 60 点以上を合格基準とする。

大分類:業務の実施体制(計 20 点)

審査項目	採点基準(審査の視点)	配点	係数	満点
業務実施体制	・ 責任者、人員配置、役割分担は適正で、本業務を確実に遂行できる体制になっているか？	5	1	5
事業実施主体の経験・的確性	・ 学修・交流空間の設計、ICT 機器導入、AV・音響、内装施工、ユーザー教育の総合力が提案内容を支えられる水準にあるか？	5	1	5
類似業務の実績	・ 大学、公共施設、オフィス等におけるコラボレーションスペース、ラーニング・コモンズ、半個室型・ブース型空間等の類似実績と、課題・改善知見が示されているか？	5	1	5
工程や進行管理等についての考え方	・ 年度内検収、授業・試験・行事、図書館の利用に配慮し、撤去、搬入、施工、設定、調整、検収までの工程・リスク対策・施設利用停止期間が具体的で実現性が高いか？	5	1	5

大分類:企画提案の優位性(計 60 点)

審査項目	採点基準(審査の視点)	配点	係数	満点
目的適合・空間コンセプト	・ 学生が自発的に集い、気軽なコミュニケーションや偶発的な交流が生まれるという目的に適合し、特定用途に限定されない柔軟な空間コンセプト、利用者体験、導入効果が具体的に示されているか？	5	3	15
既存什器の活用・防音性を備えたスペースの整備	・ 既存什器が十分に活用されているか？ ・ 防音性を備えたスペースについて、透明性、開放感、利用状況の見えやすさ、入りやすさが確保されているか？少人数の打合せ、発表練習、オンライン会議、PBL 等の対話が周辺の学修環境を過度に妨げていないか？遮音・吸音、換気、照明、電源、ICT 連携、安全性が具体的か？	5	3	15
ICT 機能	・ 可動式モニタ、画面共有、外部入力、カメラ、マイク、スピーカー、標準会議アプリ連携、復旧手順が学生にも扱いやすい構成か？	5	2	10
意匠・ゾーニング・レイアウト・可	・ 個人作業、少人数対話、グループワーク、PBL、遠隔交流、展示・発表、待ち合わせ等の利用シーンに応じたゾーニング、動線、視線、電	5	2	10

審査項目	採点基準(審査の視点)	配点	係数	満点
変性・ライフサイクル	源、収納、レイアウト変更、原状復帰の計画が合理的か？ ・ 既存空間との調和、デジタルキャンパス構想を体感できる意匠、転倒・落下・配線・避難経路等の安全性、多様な学生へのアクセシビリティ、5年間の保守・更新・設定バックアップ・台帳管理が具体的か？			
自由提案	・ 目的適合性・運用性・保守性・費用対効果を高める自由提案(代替案を含む)は妥当で効果的か？	5	2	10

大分類:経費(計 10 点)

審査項目	採点基準(審査の視点)	配点	係数	満点
見積・根拠・将来費	・ 見積は上限内で、整備対象ごとの費用内訳、共通費、搬入・施工費、設定・調整費、保守費、消耗品費の根拠が妥当か？導入後の保守費、更新費、消耗品、代替機等の将来費用の見通しが適切か？	5	2	10

大分類:「女性の活躍推進」及び「環境配慮」に関する取組(計 10 点)

審査項目	大区分	小区分	配点	満点
女性の活躍推進	一般事業主行動計画の策定・届出(従業員数 100 人以下の企業)	女性活躍推進法(※1)に基づく事項	0.5	最大 8 10
		次世代法(※2)に基づく事項	0.5	
	法令に基づく認定	えるぼし	2	
		プラチナえるぼし	3	
		くるみん	2	
		プラチナくるみん	3	
		ユースエール	1	
環境配慮	ISO14001 登録		2	最大 2
	エコアクション 21 登録		2	

※1女性活躍推進法:女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(平成 27 年法律第 64 号)

※2次世代法:次世代育成支援対策推進法(平成 15 年法律第 120 号)